



▲ 気合いを入れてジャンケンポン (始良市福祉運動会)

# かごしま あいら 市議会だより

No.13 6月定例会  
平成25年7月31日発行

クイズ

正解は始良

20

一般質問

21人が市政を問う

6

建物収去訴えの提起

3

条例

議員定数

30人から  
24人へ

2



▲ゆっくりでいいんだよ（福祉運動会）

# 議員定数を削減

30人から  
24人に

6月定例会は、6月13日から7月3日までの21日間の会期で開かれました。

条例制定2件、条例改正5件、補正予算、人事案件4件、工事請負契約締結1件、建物収去・土地明け渡し訴えの提起、陳情4件の議案を審査しました。陳情1件を不採択とし、残り全ての議案を原案のとおり可決しました。

今回の補正額は、86万4399千円で、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ275億6343万9千円です。

歳入は、国・県費補助金、宝くじ助成金です。

歳出は、地域振興補助金のほか、県の緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用した委託事業を実施して、新規雇用者24人を見込みます。

永年の課題であった帖佐駅前の廃屋の撤去も具体的に動き出しました。

（詳細は3ページに掲載）

地方交付税に係る国の措置に伴う、市職員給与の臨時特例に関する条例制定と市議会議員定数条例を改正し、30人から24人に削減しました。

（詳細は4ページに掲載）

# 補正予算 8643万9千円

## 新規雇用促進を図る県費100%の補助事業で 6102万8千円を追加

この事業は、県の特例基金を活用して新規雇用の促進を図るもので、県費100%の2種類の補助事業です。

補助金の50%以上は、人件費に充当することを定めています。

### 重点分野8種類の雇用創出事業

補助金4822万9千

円で8種類の事業を委託し、新規雇用者20人を見込んでいます。

**質疑** 各事業の委託目的、内容と委託額を示せ。

答弁

○景観計画策定基礎調査

土地利用計画や景観計画を策定するため、地形、建造物、樹木、展望点などの基礎調査委託費624万8千円。



▲公共用地（市道）に少ない屋外広告物

○屋外広告物調査・管理業務の効率化を図るため、国・県道など主要道路の屋外広告物の現地調査を行い、データ管理システムと連動させるための委託費363万8千円。

○あいら食のブランド発信事業

観光客の誘致や地域経済に資するため、ご当地グルメ、スイーツ、農産加工品など、あいらの「食」ブランドを広く発信する委託費720万2千円。

○錦江湾インフォメーション拠点整備

錦江湾の理解と交流人口増加を図るため、利用と保全の手法などを検討し、錦江湾の魅力を発信する委託費620万5千円。

○始良市フットパス拠点整備

交流人口増加と地域活性化を目的に、市の豊かな森林、里山、浜辺などの自然景観をゆつくり歩きながら巡るコースを設定する委託費620万5

千円。

○希少動物保護と自然環境保全

生物及び生物環境の保全に寄与し、錦江湾ミニビジターセンターでの活用も視野に入れて、希少動物の調査、エコツアーの実施、保全計画の提案など委託費620万5千円。

○森林台帳整備事業

○山田地区地域資源賦存量調査事業

### 起業支援型地域雇用創出事業

補助金1278万9千円で、新規雇用者4人を見込んでいます。

**質疑** 委託の内容を示せ。

**答弁** 始良市全体を観光資源と捉え、既存の資源に新たな資源を加えた、ソフト・ハード両面の商品化を行い、起業を支援する。

### 建物収去の提起

帖佐駅前前の廃屋は、旧町時代からの懸案事項でした。

所有者であるアミニエティ開発株式会社に対して、建物の収去の訴状を鹿児島地方裁判所加治木支部に提出します。

**質疑** 判決が出るまでの期間と、経費を示せ。

### 宝くじ助成事業補助金2自治会へ350万円

宝くじ助成事業補助金の交付を受けて、自治会の施設整備を行います。始良地区のホームタウン帖佐自治会が210万

を見込み、経費は弁護士費用85万円、解体費用65万円を見込んでいます。



▲永年の懸案だった帖佐駅前廃屋

円で、放送施設、パソコン、プロジェクト等を購入します。

加治木地区の下新道自治会が140万円で、刈払機、高圧洗浄機、エアコン等を購入します。



▲ホームタウン帖佐自治会夏祭り

# 条例

## 職員給料5・98%削減

### 臨時特例に関する条例制定

1月28日総務大臣通知により、国に準じて給与減額を講ずるよう要請されたことを受け、市職員組合との協議を経て給与を減額します。

内容は、7月1日から平成26年3月31日までの市職員の給料月額を平均5・98%、管理職手当を一律10%削減します。

9か月間で1人当たり平均18万6000円、総額1億1600万円になります。

#### 反対討論

神村次郎

①地方自治の本旨をないがしろにするものである。  
②地方自治体における労使自治への不当な介入である。

③地域経済に対してもマイナスの効果をもたらす  
今回の措置は「地方交付税の補助金化」であり、交付税制度を崩壊させる

行為であり許されるものではない。

里山和子

このような国のやり方を許していけば、国家公務員給与はもとより地方公務員の給与も下がり、さらに民間給与にも悪影響し、景気はますます悪くなる。

始良市も国に対し、もう少し毅然とした態度を貫いてほしい。

#### 賛成討論

川辺信一

①本市は交付税がないと成り立たない自治体であり、国の要請に対しては積極的に協力すべきである。

②地元で働く民間の給与に比べ、まだ高い水準にあると思うので、職員給料削減には賛成する。



▲輪番で退庁前15分、職員の清掃

## 議員を30人から24人に 市議会議員の定数条例の一部改正

議員定数等調査特別委員会を平成23年3月に設置し、これまで14回の委員会を開催し審議しました。

24年12月には、市民3000人によるアンケート調査も実施し、その結果も受けて、慎重に審議した結果、特別委員会は定員を24人にする結論し、条例を改正しました。

次回行われる市議会議員一般選挙から適用されます。

## 選挙費用の一部助成

始良市議会議員および始良市長の選挙運動用自動車・ポスター・ビラ作成の公営に関する条例

始良市議会議員および始良市長の選挙運動経費の一部を公費で負担することになります。

このことは、選挙運動に係る費用の高額化を回避し、同時に候補者それぞれの経済力に関わらず、

最低限の選挙運動の機会を均等に与えることを目的として条例を制定するものです。

対象となる経費としては、運動用のレンタカー、その運転手の日当、燃料代、選挙運動用のポスタ

ー、ビラ代(市長選のみ)などが含まれます。



▲30人から、次期24人の顔ぶれは？

なおこれまでの加治木・始良・蒲生の選挙区も廃止されます。

## 教育委員の任命



川畑 逸郎氏  
(平松・60歳)

任期は平成25年6月14日から  
4年間です。

## 人権擁護委員に同意

任期は法務大臣が委嘱した日  
から3年間です。



海老原 博子氏  
(加治木町反土・72歳)



黒田 静子氏  
(平松・69歳)



古城 るり子氏  
(西餅田・59歳)

## 港町飲食店街活性化事業 早期推進着工についての 陳情

提出者 下浜自治会  
会長 寺 師 秀 孝

**主旨** 加治木町港町地区は、近年の各事業所等の撤退により衰退していく状況であり、平成25年度予算の「港町飲食店街活性化事業」には、商工会や飲食店業組合、地域住民も一体となって事業推進を期待しているところ  
です。

飲食店街活性化はもちろんだ地区全体の環境整備を計るためにも、石堤は移設保存するなどして、この事業を早期に着工していただきたい。

# 陳情

## 採択

### 反対討論

吉村賢一

動かすことのできない史跡を残す一方で、生活者の利便性を確保していくのがベターである。早急にことを運ぶのではなく、もっと市民の意見を聞き調整を図って慎重にやるべきである。

法元隆男

港町飲食店街活性化には大賛成であるが、網掛通線の石堤についてはまだ議論が熟していない。この陳情は「移設」を前提としており、「現地保存」との意見調整をすべきである。県の予算のついた浜通り線の整備は早期着工を望む。

### 賛成討論

堂森忠夫

港町地区全体の衰退に歯止めをかけるための地元住民の陳情である。石堤を移設してモニユメントにして残り、地元民の安心・安全なまちづくり、環境整備を優先するものであり、早急な事業推進を願う。

田口幸一

「現在の岸壁に整備された時点で、石積の護岸のほとんどは撤去され、その一部が残っている。」このままの状態より、移設整備して、広く周知した方がより効果的である。」との住民意見もある。環境整備、活性化につながるものである。

## 採択

### 害獣捕獲隊陳情

提出者

市有害鳥獣捕獲隊  
隊長 吉村 勇

- ①猪・鹿の捕獲補助金が1頭4400円ですが、猪を6000円に、鹿を8000円程にしてほしい。
- ②わな免許取得時の県の講習会費補助5000円を、来年度以降についても対応してほしい。
- ③害獣対策協議会に、2人程度のわな免許取得者を配置してほしい。
- ④出勤実績に対する補助金に、捕獲成果に対する補助金に、整備してほしい。
- ⑤猿の捕獲に関して、1隊10人程度で構成する専属の捕獲隊を作してほしい。
- ⑥各捕獲隊員は、アマチュア無線の資格を有しており、災害支援等に協力します。

## 不採択

### 網掛通り線の旧護岸の保存活用についての陳情

提出者

網掛川旧護岸を護り活かす会  
代表 金丸 國夫

## 資源物

# 受入場所増設の効果

市長／市民サービスの向上や収集体制の効率化が図られた



和田里志議員

和田 資源物等の分別・収集体制の統一、受入場所の増設、期間の変更に伴う効果と影響を問う。市長 体制や期間の変更により、搬入先の選択肢が増え、資源物の分散化が図られた。始良地区の計量の廃止など、市民サービスの向



▲増設された資源物受入場所「重富蔵」で行われている資源物受入の状況

上や収集体制の効率化が図られ、住民負担も軽減された。今後にも必要に応じて改善していきたい。

**地域コミュニティ**  
市長／検討委員会で方向性を示す

和田 地域コミュニティへの支援を具体化するため担当部署を新設し、支援員制度に向けた準備を進めるとしたが、今後の具体策を問う。市長 自治会に代表される地域コミュニティ組織は、市政の重要なパートナーである。活発な活動を行うためには、地域の

再生と組織力の向上が必要であり、今後も自治会への住民総参加を推進していく。  
本年度「コミュニティ検討委員会」を設置し、基本的な方向性を示していた。だこうと考えている。

## 市長就任公約

# 施策実行何%か

市長／マニフェスト80%着手



湯川逸郎議員

湯川 市長就任の公約で現在まで何%施策が実行され、未実行が何%、また、道半ばの公約が、何%なされているのか。

市長 公約として、9つのマニフェストを示した。小項目で47項目のうち、39項目、約80%が着手を含め、実行済みである。残り着手可能および状況調査を行っている。その実現・具現化に向け、全力で取り組みたい。

**認知症対策**  
市長／知識の普及に努める  
湯川 認知症を抱えている家族の悩みは、極めて深刻である。認知症の方が、本市にどの程度おられるか。その対策を問う。市長 要支援・要介護認定者3611人のうち、2897人である。本市の高齢者人口の14・3%である。  
現在、支援策として、特別養護老人ホーム、認知症対応グループホーム等施設の整備や、徘徊に対する見守りネットワークの構築、認知症に対する知識の普及等に努めている。



▲支所間が便利になりましたね

# 21人が問う

## 津波対策

### 浸水からの避難

市長／その地域の海拔を電柱に表示



本村良治議員

本村 電柱に海拔表示がなされている。津波浸水後の避難行動をどのように考えているか。

市長 津波浸水から身を守るために地域の海拔を電柱に表示している。例えば、7メートルの津波襲来であれば10メートル表示の青ラインより高い所へ避難してくださいということである。



▲避難の目安となる海拔表示

# 一般質問

# 市政を

給食説明会の目的と内容  
教育長／「在り方検討委員会」へ反映

本村 今回の給食の作業環境についての説明会はなぜ行われたのか。その目的と内容を明らかにせよ。

教育長 本市における給食施設や運営、食育の推進に関する現状や課題を理解していただき、「学校給食在り方検討委員会」へ保護者の意見を反映させることを目的としている。

○「道の駅」構想  
その他の質問



森 弘道議員

## 整備を計れ

市長／年次的に計画

## 側溝蓋



▲関係者の協力で安全な柵が完成（帖佐小周辺）

森 水流寺自治会内の用水路管理道路の整備と、上麓中通り線の側溝蓋の整備計画について示せ。市長 用水路の整備については、水流寺自治会や川北土地改良区と協議している。整備については、地元負担金も必要であり、緊急性の高いものから順に対応していきたい。上麓中通り線の整備については、本年度測量業務を実施、26年度、27年度に整備工事を計画している。

中学生までの医療費助成拡大  
市長／マニフェストで対応

森 県内で初の子育て基本条例が制定され、本市

の人間愛、郷土愛あふれる人づくりの社会基盤、子育ての支援環境が定まるものと評価する。行政として子育て世代の環境整備の点から、医療費助成を現在の小学6年生までで、義務教育の中学生まで拡大することについて見解を問う。市長 今後、県内の実施状況や財政面を勘案して、次回の私の公約マニフェストの中で対応したい。

その他の質問

○自治基本条例の制定  
○帖佐グラウンド砂ぼこり対策

○いろは歌の実践

## 始良市の財政

### 自主財源が増加する要因

市長／企業収益の増加をはかる



田口幸一議員

田口 将来、自主財源が増加する要因があるか。平成24年度の決算状況はどのようになっているか。

市長 本市の自主財源の7割程度が市税であることに鑑みると、景気回復による個人所得、企業収益の増加に伴う個人市民税、法人市民税の増収や、企業のさらなる進出等に伴う固定資産税の増収等が、将来的に期待される自主財源の増加要因である。

市長／企業収益の増加をはかる

○重富浄水場築造工事  
○公共下水道の設置  
○信号機の設置  
○市営の墓地、納骨堂  
○市営住宅の建設

平成24年度の歳出決算額は266億300万円



▲黙々と仕事に取り組む財政担当職員

## 今後の工程

市長／30年度供用開始の予定

スマートIC



萩原哲郎議員

萩原 始良市として、地域経済、企業誘致、観光面にも効果のある、(仮称)桜島SAスマートインターチェンジ設置に向け、作業も最終段階にある。今後の工程を示せ。

市長 6月11日に国土交通省の連結許可を受けた。今年度、詳細な測量設



▲スマートインターチェンジが設置される桜島SA

計を行い、26年以降、用地取得、整備工事着手を行い、30年度供用開始の予定としている。

市長 過去に鹿児島空港と鹿児島市をつなぐモノレールの整備の話があった。

### 中央駅から空港への交通手段

市長／議論されることが望ましい

萩原 安全で正確な運行ができるJRで、鹿児島中央から鹿児島空港を結ぶ構想について、市長の考えを問う。

市長 過去の鹿児島空港と鹿児島市をつなぐモノレールの整備の話があった。

### その他の質問

- 蓮池団地横の狩川改修
- 水防・避難訓練
- 始良市の競技場・公園



# 体育館の構造変更

教育長／木構造で建設



堂森忠夫議員

堂森 体育館を、何故、面積を狭くしてまで、鉄骨構造から鉄筋コンクリートと木構造に変更したのか。木構造に変更して、接合部のボルトや耐震構造的に、鉄骨相当の強度を保障できるか。  
教育長 木材利用推進を念頭に、屋根面梁材は木



▲鉄骨構造から一部木構造に変更された体育館の完成予想図

構造で建設する。ボルトや構造的な問題については、建築確認申請時の構造計算適合判定を受け、合格して建設許可はなされる。すでに許可が出ているので問題はないと考える。

### 感謝の人興し

教育長／地域行事へ参加

堂森 子育て条例に沿った育成のためには、教職員自らが地域活動の参加で市民と一緒に汗を流すことに感謝の人興しを育め。

### その他の質問

- 人事管理
- 地域再生と人材育成
- 市道・里道等の整備

教育長 太鼓踊りなどの伝統文化や米作り等の農作業体験学習等で地域講師に指導を受けている。教職員に地域行事等への参加の督励をするように指導している。

## 安全・安心確保

# 雨水排水対策を示せ

市長／緊急性の高い路線を優先



笹井義一議員

市民の安全・安心を確保するための雨水排水対策を示せ。  
市長 雨水排水対策調査は、始良地区が平成9年度、加治木地区が15年度に実施している。その後流域内の宅地化

などで、計画の見直しが必要と考えるが、緊急性のある地域から重点的に見直しを行い対処する。現在は、始良駅前通り線と岩原地区の排水路工事を実施している。

その他の質問  
○子育て基本条例の具体的な実践

笹井 平成5年の8・6水害から20年経過した。本年度3億7800万円かけて、加治木地区の防災行政無線が設置され、市内全域の情報伝達手段が整備されることは評価する。  
近年は、ゲリラ的な豪雨が普通に発生し、各地に甚大な被害を及ぼしている。  
始良・加治木地域の排水路の現状調査結果では、水路断面が小さくて機能しない水路や、流末に排水ポンプ設置が必要な地域が多数存在する。



▲スマートIC設置より難しい雨水排水対策

## 観光開発

# 龍門司坂一帯周遊道

市長／魅力あるコースを考える



吉村賢一議員

吉村 龍門滝から龍門司坂・高岡公園一帯の観光開発のコース整備はできないか。  
市長 文化・歴史・景観を分野別に整理し、多様で魅力あるコースづくりを行う。



▲龍門司坂一帯周遊道路で最も眺めの良い高倉展望台

吉村 龍門司坂駐車場のトイレ案内表示と、滝近くのトイレを利用しやすくできないか。  
市長 龍門司坂入口の周辺施設案内板の更新時に検討する。滝近くのトイレの足の不自由な方への案内は今後検討する。

### 島津義弘公400年祭に向けて環境整備を

市長／地域の意向踏まえ検討

吉村 島津義弘公400年祭に関連ある名所のトイレ・駐車場整備はできないか。

- 港町網掛通り旧護岸の整備および振興策
- 加治木郷土館拡充

### その他の質問

市長 精矛・隈姫神社は神社の管理施設であり、公での整備は難しい。稲荷神社は、西隣の花園寺跡庭園整備計画をまとめる中で検討したい。駐車場や公共トイレについては、地域の意向を踏まえ、今後検討する。



河東律子議員

## 認知症

# 対策と課題

市長／第6次事業計画で検討

河東 65歳以上の高齢者の約15%が認知症と言われる。今後も増加の傾向にある。認知症の対策と課題を示せ。  
市長 介護保険の要介護者3611人のうち、認知症を有している方は、2897人である。  
今後増えてくると考

体罰の実態と対策  
教育長／指導力向上セミナー実施

教育長 体罰の実態は、23年度小学校0件、中学校1件、24年度小学校0件、中学校5人計9件であった。  
教科の指導力が十分でなかったり、生徒指導力が至らなかつたと考える。24年度からそれらの指導力の研修をしている。  
その他の質問  
○子育て基本条例  
○在宅介護支援



▲市では認知症対策の講習会を開き市民の理解を深めています

## 加治木地区

### 複合施設の整備

市長／総合計画で検討



神村次郎議員

神村 弓道場と老朽化した体育館の整備を、現在の加治木総合支所の場所に、行政機能も含めた加治木地区の核となる複合施設として、整備できないか問う。

市長 施設に老朽化の問題もあり、今後、本庁・支所を含めて全体的な行政機能の在り方を検討する。

複合施設は、スポーツ推進審議会を発足し、課題を取りまとめて総合計画に位置づける。

### 高岡公園の再整備

市長／適正な維持管理に努める

神村 市民の要望の多い多目的広場、グラウンドゴルフ場、テニスコートのほか、木田地区から市街地を望みながら公園に登るリフトの計画等、高

岡公園全体の再整備はできないか。

市長 市内外からの利用者も多く、地区住民に憩いと交流を提供し身近なスポーツを楽しめる施設となっている。当面は、利用しやすい公園として適正な維持管理を行う。リフトの整備については、可能性を秘めた私の夢とさせていただきたい。

### その他の質問

○龍門滝温泉にエレベーターの設置を



▲複合施設としての整備が望まれる加治木総合支所と体育館

## 子育て施策

### 更に充実を

市長／検討する



森川和美議員

森川 待機児童対策、保護者の負担軽減対策として

①医療費の無料化を中学生まで

②各地区公民館にキッズルームを

③幼稚園、保育園の送迎バス導入を

④認可外保育施設保育料補助年間10万円と、保育施設設置者に年間20万円補助する考えはないか。

市長 現在、乳幼児から小学修了まで医療費の全額を助成している。

中学生までの拡大については、今後検討する。

各地区公民館のキッズルーム設置についても検討する。

幼稚園、保育園の送迎バス導入については、バス利用の対象幼児の登園

距離や年齢の問題など、現在のところは、バスによる送迎の導入は難しいものと考えます。

認可外保育所入所児童の保護者には、年間1万円の助成を継続し、施設設置者に対する補助については、今後、県内他の市の状況を調査しながら検討していく。

幼稚園、保育園の送迎バス導入については、バス利用の対象幼児の登園

### その他の質問

○総合防災訓練  
○自治会加入促進



▲認定子ども園の送迎バス（大楠ちびっ子園）

## 子宮頸がん

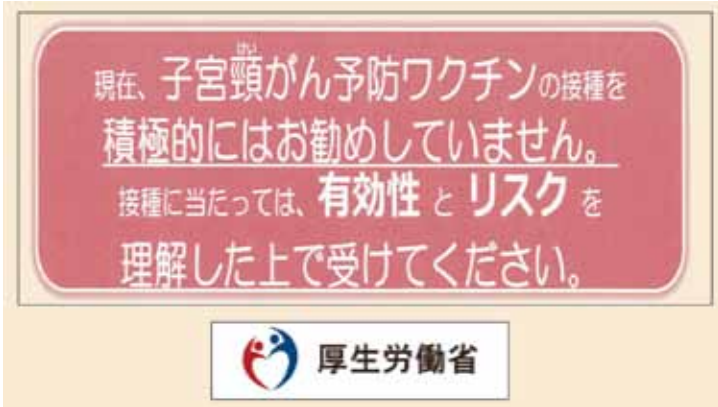
### 今後のワクチン接種

市長／当面の間慎重に対応する



出水昭彦 議員

出水 始良市は、がんの中でただ一つワクチンによる抑制が可能であると言われている子宮頸がんワクチンの接種を平成23年11月から全額公費負担



で実施してきた。

全国的に副作用の報告がなされ厚労省の勧告が出されたようだが、どう対応するか。

市長 6月14日に厚労省より通知されたのは、「当面の間積極的な接種の勧奨を差し控える」「定期接種は中止せず、希望者の接種の機会を確保する」とのことである。

市内の対象者には6月17日付で説明資料を送付した。また、これまでの市内接種者では重篤な副作用の報告はない。

1回目2回目の接種で気分が悪くなった方は慎重に、何ともなかった方は保護者の判断のもと接種して欲しいと考える。今後も情報が入りしだいお知らせする。

#### その他の質問

○交通危険箇所改善

○始良市のPR

## システム導入 できないか

市長／検討したが見送った

### 防災ラジオ



湯之原一郎 議員

湯之原 台風襲来時や大雨の際に、屋外拡声子局で市民への防災情報が、十分に伝達できるか危惧する。防災ラジオシステムを導入できないか。  
市長 防災行政無線の整備を行うに当たり、防災ラジオの導入も検討したが、デジタル周波数を受



▲本庁舎屋上にあるデジタル防災行政無線アンテナ

信できる防災ラジオがなく、導入を見送った経緯がある。

今回のデジタル防災行政無線整備では、将来、コミュニティFMとの連携も可能なシステムを構築している。

#### ふるさと納税

市長／お礼に始良市特産品

湯之原 ふるさと納税をされた方々への対応はどうなっているか。

市長 ふるさと納税寄付金をいた、いただいた方には、

お礼状と、所得税等の寄付金控除を受けるための受領証明書と「市報あいら」を送付している。

年間3万円以上寄付された方には、始良市の特産品をお礼として送っている。

#### その他の質問

○「自治基本条例」制定

○交通安全対策

## 都市インフラ

# 公共下水道施設の整備促進

市長／基本的な都市基盤である



川辺信一 議員

川辺 都市インフラとしての公共下水道の必要性の認識を問う。

市長 水環境を守ることを使命とする最も基本的な都市基盤であると認識し、公共下水道と同等な整備維持・管理を図りたいと考えている。



▲霧島市の国分隼人クリーンセンター

川辺 公共下水道と同等な整備とはなにか。

市長 合併浄化槽による整備を進めている。

川辺 公共下水道が未整備のために住民等の高負担について問う。

市長 合併浄化槽設置に伴う設置補助を行う。

川辺 県内の5万人以上の都市で公共下水道の未整備の都市があるか。

市長 未整備の市はない。

川辺 合併浄化槽と公共下水道では似て非なるものだが、本市において公

共下水道の整備はできないか。

市長 多額の整備費用と建設に長期間を要することや、終末処理場の設置場所の選定も困難である。

また浄化槽による整備が6割程度になっており、公共下水道の事業着手は難しい。

## 子育て支援

# 家庭的保育ママ制度

市長／今後研究する



竹下日出志 議員

竹下 待機児童の解消策として、家庭的保育ママ制度がある。

保育ママは、保育士や看護師などの資格を持った人が、自宅などで0歳から2歳児の子どもを預かる制度である。

本市でも実施する考えはないか。

市長 この制度は、認可保育所に入所できなかった児童を保育する方法で、児童福祉法に定められている。

家庭的保育制度も、今後研究する。



▲家族で子育て 未来の宝

黄色い旗運動の推進  
市長／市社会福祉協議会と連携

竹下 高齢者の見守りや孤立防止策、地域の共助力を高めるため、黄色い旗運動を実施する考えはないか。

市長 この事業は、在宅

で生活する高齢者等を地域住民のボランティア活動により地域全体で支える仕組みを構築する。  
集落や自治会単位での実施意向がある場合は、市社会福祉協議会と連携して支援する。

### その他の質問

- 防災と男女共同参画
- 市税等の収納率の向上対策
- 行政サービスの向上対策

## 解体撤去

# 吉田清掃センター

市長／財政状況を踏まえて  
検討する



里山和子議員

里山 鹿児島市本城町にある吉田清掃センターを一日も早く解体撤去して欲しいと、地元の方々から声が上がっている。解決の見通しを示せ。  
市長 解体の必要性は十分認識しているが、解体には跡地利用計画がなければ補助制度を利用でき



▲旧吉田町にある処分場は1日も早く解体撤去を！

ず、概算事業見積もりでは約4億円必要となっている。

今後、始良市総合計画および実施計画の中で財政状況も踏まえながら、検討する。

**子ども医療費、中卒までの無料化と窓口負担をゼロに**  
市長／財政面を勘案し検討

里山 子供の医療費中卒までの無料化は、8市5町2村で実現し、霧島市も今年の10月から開始する予定である。

始良市でも取り組んだらどうか。また窓口負担

ゼロにはできないか。

市長 中学生までの無料化については、今後、県内の状況および財政面を勘案しながら検討する。また、窓口負担無料化については、現在のところ難しい。

### その他の質問

○市長の政治姿勢

(憲法改正について)

○小中学校体罰アンケート調査

## 観光政策

# 観光客との問題解決

市長／マナー啓発やルールづくりも必要



小山田邦弘議員

小山田 蒲生地区では観光客が無断で個人宅の敷地内に入ったり、小学生を写真に撮るなど、観光客と地域住民との間にトラブルも生じているが、どのように捉えているか。

市長 観光客を迎える側の地域住民は、観光客の行為をすべて受け入れるというのではなく、それらの行為によって双方が不快な思いをしないよう、観光のマナーの啓発やルール作りも必要だと考えている。

**高齢者の交通安全対策**  
市長／積極的に推進

小山田 高齢者が関係する交通事故が増加傾向にある。

高齢者に特化した交通安全対策を施す考えはないか。

市長 いきいきサロンや自治会主催の交通・防犯教室など、あらゆる場面で啓発活動を推進していく。

加えて、本年10月には新たに高齢歩行者事故防止講習会を開催予定である。

### その他の質問

○子育て支援



▲見てみたいのはやまやまですがマナーを守りましょう

## 斎場の設置場所

### 中部横断道路延長線沿いに

市長／現斎場の向かいの市有地が最適地



湯元秀誠議員

選定した。

湯元 最近斎場へ向かうマイクロバスが土手に激突して負傷者が多数出た。道路整備の計画はないか。中部横断道路の計画路線沿いの日当たり、見晴らしの良い場所に設置は考えないか。

湯元 人生の終焉を迎える所として、家族の方々の悲しみを癒す場所として現在の斎場は、冬は日当たりも悪く、あまりにも寒々しい。計画地が最適地と考えるか。

市長 副市長と関係部長による候補地選定委員会による候補地を選定して8か所の候補地を評価し現火葬場の向かいの市有地が最適地と決定した。

湯元 選定には広く市民の声を聞くべきでは。

市長 鍋倉、納屋町の自治会長に2回説明した。火葬場の設置は敬遠される傾向があり行政側で



▲休憩室から市街地・桜島を一望できる国分斎場

市長 火葬場へのアクセス道路は総合計画、マスタープランで計画している。中部横断道路は今年度路線の概略計画を行うが質問の件については考えていない。

○**その他の質問**  
○**開発と道路新設**

## 旅館・ホテル条例

### 問い合わせは

市長／8件程度あった



谷口義文議員

谷口 旅館・ホテル施設誘致促進条例の反響も大きいですが、現在まで問い合わせ打診等があったのか。また条件を満たせば旧サンピアあいらも補助の対象となるのか。

市長 地方紙や全国的な業界誌また、鹿児島県ホ



▲旧ウェルサンピア始良

テル・旅館衛生同業組合加盟の約330社に対し、チラシを送付し、PRに努めている。問い合わせ打診等は、8件程あった。旧サンピアあいらも補助の要件を満たせば対象となる。

### 保護受給の取り組み

市長／適切に保護を実施

谷口 生活保護（法）は、不公平・不平等をなくし真に受給を必要とする弱者のための保護であると思う。本市の保護受給に関し、取り組みと対策を

示せ。

市長 本市10月時点で1029人の被保護者がいる。さまざまな問題を抱えた状況を踏まえ、専任の相談員が丁寧な説明を行い、「漏給防止」「濫給防止」「自立支援」を基本方針とし、真に支援が必要な人に対しては適切に保護を実施している。

○**その他の質問**

- 認知症
- 防災（減災）
- 本市の基金
- 改正道路法

# 語る会

## 広く意見交換

始良市議会では、「議会基本条例」に基づき平成24年12月に第1回の議会報告会を開催しました。

前回の報告会の際に、「一方的な報告会ではなく、広く意見交換のできる会にしてほしい」と、参加者からの意見が多くあり、名称を「議会と語る会」に改めて開催しました。

平成25年5月18日(土)の夜に始良会場、19日(日)昼に蒲生会場、夜に加治木会場で実施し、今回は83人(前回35人)の市民の方々の参加がありました。

議会だよりを資料に、第1回定例会で議決された案件について説明の後、市政全般にわたって意見交換がなされ参加者からさまざまなご意見をいただきました。



▲蒲生会場(蒲生ふれあいセンター)市民22人参加

**質問** 総合運動公園の雨天練習場は、プロ野球選手にも対応できるのか。

**回答** 韓国のプロ野球もキャンプに来ており、対応は可能である。

**質問** 旅館ホテル施設誘致促進条例については官民一体となって取り組む必要があると思うが。

**回答** イオン進出についても会議場などの設置を議会でも要請している。

### 市政全般に対する 主な質問・意見

### 障害者控除 認定

## 手続きの簡素化

市長／先進地を研究



堀 廣子議員

**堀** 障害者控除対象者認定書の手続きは、自治体ごとに多様である。先進地では、手続きが簡素化され対象者の負担が軽減されている。始良市でも市民が利用しやすい制度にできないか。

**堀** TPP参加は、食の安全、医療制度、雇用など日本の経済を土台から壊すものである。県は農林水産業や関連産業、地域経済に4403億円の損失、9品目の農産物生産額は1337億円の損

**TPP参加の影響**  
市長／農産物で17億  
6千万円程度

市長 先進的な取り組みの自治体を参考に、対象者の負担軽減につながるよう研究する。

**堀** 中山間地域の人口が減っているが、対策はどのように考えているか。

市長 国の対策動向を見きわめながら対応をしていきたい。

失になると試算した。始良市への影響はどのような分野におよび、また、その額はいくらになるか。

市長 農産物の影響額は、17億6千万円程度になる。



▲日本の農業を支える就農者

その他の質問  
○生活保護基準引き下げの影響



# 議会と

## 第2回



▲加治木会場（加音ホール）市民27人参加

**質問** 加音ホールで催し物がある場合は、交通渋滞が甚だしい。交通緩和措置と併せて別府川河口に橋を架けることを要望する。

**回答** 池田店付近の街路計画調査と、木田橋の拡幅を計画している。別府川河口に橋を架ける計画はない。

**質問** 蔓が空き家の屋根を覆い道路までかぶっている。タヌキの巣にもなっている。対応をお願いしたい。

**回答** 空き家の状況調査でランク付けした資料の提出はあったが対応策は

まだ示されていない。家主との対応を要請する。

**質問** 通学路の安全対策を。

**回答** ゾーン30km制限の設置と考える。行政に意見を伝える。

**質問** 港町の旧堤防を撤去、移築する計画と言うが現在のまま残していた方がいい。また公聴会を開くことは出来ないか。

**回答** 執行権は行政にあるので行政に伝える。

### 市政への提言

○職員の名札のぶら下げは良く見えない。胸にしっかりと付けていただきたい。

○始良地区で病児保育事業が実地される。加治木・蒲生地区にも設置を要望する。

○障がい者が暮らしやすい環境を望んでいます。障がいを持つ子どもが小学校のプールを使用できるようにしてほしい。

○障がいを持つ子どもの児童保育の場所に空き家の活用と、高校生までの児童保育を行えないか。

○西元グラウンドは30年余にわたり地域住民の活動拠点に、豪雨時には遊水地として活用されている。市で購入してほしい。



▲始良会場（松原地区公民館）市民34人参加

### 議会に対する 主な質問・意見

**質問** 議員定数は、24人と25人が同数であった。

**回答** 採決の結果である。

**質問** 旅館ホテル誘致促進条例で旧サンピアを議論検討したか。

**回答** 旧サンピアは一般企業の持ち物で、それをどうするといった議論や

検討はできない。

**質問** 議会傍聴者が少ない。議員から積極的アピールを。

**回答** 日程のお知らせなど努力していきたい。

**質問** 議員の顔が傍聴者の改良と身障者のための傍聴席の改良をして。

**回答** 市民の代表として執行部に発言しているの現在のレイアウトになる。傍聴席の改良は将来の課題と考える。

### 語る会当日の アンケートから

○議会活動に興味を持って注視していきたい。

○資料を準備して納得のいく説明をしてほしい。

○建設的な会であり今後も計画的に実施してほしい。

○予算の費用対効果も説明がほしい。

○このような企画を歓迎、市民の理解が浸透してこそ、始良市の活性化につながる。

○始良市において南海トラフ地震が起きた場合、どのような被害状況を想定しているか、その対策を聞きたい。

○会場設営は椅子・テーブルの方式を希望します。

紙面に掲載した質問、提言は、一部を抜粋したものです。ほかにも多くの意見をいただきました。市政への意見は、執行部にしっかりとつなぎ、議会に対する意見は、今後、議会の中で議論を深めてまいります。

# 先進地に学ぶ

委員会  
レポート

大分県竹田市

## 空き家バンク制度

総務

平成25年5月23日、大分県竹田市で「空き家バンク制度」を調査しました。

### ○竹田市の状況

人口約2万4423人、65歳以上高齢化率40・83%（全国5位）、75歳以上後期高齢化率25・22%（全国1位）であり、少子高齢化に直面しています。

### ○人口減少の対策

空き家バンク制度は、平成17年から人口減少の対策として取り組んでいます。全国から竹田市への移住を促す「農村回帰宣言

市」を目標。その後、ふるさと回帰運動を推進しています。

また、専任職員2人を配置、市内19小学校区に集落支援のサポート（各地区の空き家情報）などの体制を整えました。推進強化のため助成制度を創設しました。

その結果、空き家バンクの移住希望者が、これまで549人になり実績として62世帯、122人の移住が実現しました。その8割が40歳未満の若い世代で、農業や、竹

工芸家、紙すき職人など、竹田市の歴史・自然・文化が人を呼ぶという、良い相乗効果が生まれています。

○調査を終えて  
今後、始良市が空き家バンク制度を設立する場合、参考になる政策になると感じました。

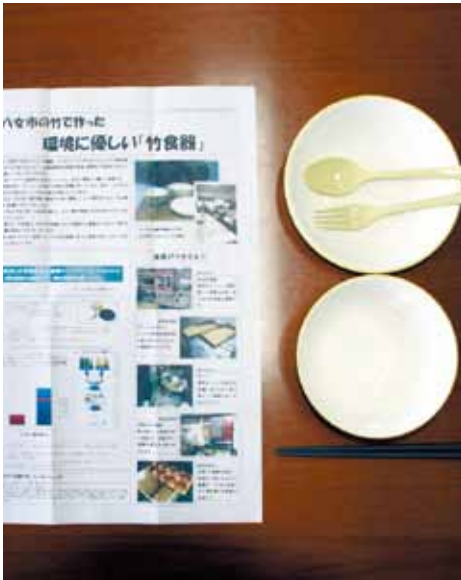


▲空き家バンク制度の説明を聞く

福岡県八女市

## 竹繊維を素材にエコ食器

産業文教



▲学校給食にエコ食器を試用

平成25年5月30日、福岡県八女市で放置竹林対策と、竹資源の有効利用について調査を行いました。

### ○八女市の状況

八女市の竹林面積は2461ha（始良市の竹林面積は908ha）あり、早くからタケノコの缶詰技術を確立して、1980年代の最盛期には、農山村の重要な収入源になっていました。その後、輸入タケノコの増加により価格崩壊が起こり、タ

ケノコ生産の減少、さらに放置竹林の増加により、農地や植林地への竹の侵入、農山村の環境破壊など多くの問題が起こってきました。

クト事業の一環として、竹繊維を素材にエコ食器の開発に取り組み、市内の公立学校の給食用食器に試用が始まっており、注目されています。

### ○竹対策への取り組み

平成7年に第3セクターの立花バンブー株を設立し、農業用資材や床下調湿材として利用できる竹炭・竹酢液の製造に取り組み、荒廃竹林の根絶事業や再生事業に効果をあげています。また、竹対策プロジェ

### ○調査を終えて

始良市でも放置竹林は大きな問題となってきました。今後、産学官で知恵を絞って「やっつかいもの」を「宝物」に替える工夫が、必要ではないかと感じました。



# 地域に根ざして

## 在宅障がい児(者)をかかえる親の会 いちごくらぶ

「いちごくらぶ」は、障がいのある子どもを持つおおかあさん方が、「地域に子どもたちが還る場を作ろう」と、20年前に立ち上げられました。

まだ福祉の充実していない時代、関係機関や支援者の協力を得ながら、子どもたちの幸せを願う活動を続けておられます。

平成21年には、その活動が認められ、厚生労働大臣賞を受賞されました。

### いちごくらぶ立ち上げのきっかけは？

いちごくらぶは平成6年3月に立ち上げました。障がいを持つ子どもたちの療育・親の集いの場が、今のようにならない時代、先の見えない不安の中、将来、子どもたちが地域へ還る場を作ろうとの思いからです。

当時は高等部卒業後の行き場も療育の場等もなく、福祉の闇の中を摸索

している状態でした。

それでも、仲間たちと語らい、情報を共有し、日々を過ごし、会を重ねていきました。

私たちの活動の度に、病院関係の先生方をはじめ、保健師・行政・ボランティアの方々の後押しのおかげで、今日があります。

今までのような活動をされてきましたか。

協元地区公民館で、毎



▲20年にわたる子育てへの熱いおもいを話していただきました  
(左から保さん、有木さん、福岡さん、平野さん)

月1回乳幼児から成人までの子どもたちと、音楽療法、歯科指導、親子発達相談、クリスマス会など、季節の行事を取り入れて活動しています。

主に寝たきりで、医療

的ケアの必要な子どもたちですが、地域の中で楽しくゆったり笑顔で過ごせるように、ひとりで悩まず、子育てやさまざまな情報交換を行う場となっています。

いちごくらぶの名前のように、人と人との繋がりの根を張り、花を咲かせ、その中で少しずつ子



▲月1回の集いは親も子もリラックスした楽しい時間です  
お問い合わせがありましたら 有木さん(62-0451)まで

どもたちの行き場も増えていきました。  
これからも、子どもたちのゆったりした成長、体調に合わせて、在宅で家族や地域の方々に見守られながら、活動を続けていこうと思います。

### 今後、行政に望むことがありますか。

年を重ね大きくなった子どもの子育ては、さまざまな福祉医療サービス施設を利用しなければ、在宅で育てることが少しずつ厳しくなってきました。

私たちは、始良市に子どもの体力や体調の不安なく通える施設が出来ること。リハビリや診察の受けやすい医療体制が整えられたらと、強く強く願っています。

本日は立ち上げにかかわった福岡さん、平野さん、世話役有木さん、保さんにお話を伺いました。すべての人々に福祉の手がさしのべられる世になることを願っています。  
(聞き手 河東)

# クイズ

## ここはどこ？



正解は **始良**

応募者数 53人

次回のクイズは9月定例会号

写真は  
スターランドAIRA  
でした。  
ここは宇宙を学び、親  
しむための体験施設です。  
プラネタリウムでは四  
季折々の映像プログラム  
を上映しています。観測  
室には口径40cmの大型望  
遠鏡が設置されています。  
ご家族、ご友人と真夏  
の天体ショーを楽しみま  
せんか。

- 北澤美佳 (始良)
- 竹下智子 (始良)
- 岩坪謙二 (始良)
- 松元寛子 (加治木)
- 田之上ハル子 (蒲生)

**正解者5人に図書券**  
クイズに53人の応募が  
あり、抽選の結果、次の  
5人のかたに図書券を贈  
りました。(敬称略)

# 皆さまからのメッセージ

クイズの解答に添えられたメッセージを紹介し  
ます。皆様の声を、今後の議会だよりづくりに役  
立たせていただきます。

○議会だよりは毎回目を  
通しています。市議の方々  
の質問が市民の生活に直  
結しているものなので、  
とても興味があります。  
(30代女性)

○議員のみならず、色々  
な視点から始良市をよく  
していこうとしているん  
だなあと感じました。勉  
強になりました。  
(40代女性)

○議会が傍聴ができないう  
な視点でも、市議会での  
やりとりや取組み状況が  
わかります。今後も活用  
していきたいです。  
(60代男性)

○議員の方々がさまざま  
な視点で働きかけている  
ことがわかります。税金  
を大切に使っていただけ  
ればと思います。  
(40代女性)

○本紙は市の財政を知る  
貴重な媒体です。今回は  
松原なぎさ小学校の記事  
を興味深く読みました。  
完成が楽しみです。  
(30代女性)

○始良小外壁改修工事や  
新設校、イオンタウンな  
ど気になる話題が載って  
いました。さらに住みや  
すくなるようであらうし  
です。  
(30代女性)

○市政を問うに興味深く  
読んでいます。生活道路  
関係をさらに続けてもら  
いたいと思います。市議  
会のさらなる発展を期待  
します。  
(70代男性)

※今回もたくさんのご  
意見とご感想、ありが  
とうございました。  
また次回もご応募・  
ご意見を、どしどしお  
寄せください。

○今年で成人になったの  
で、これからは少しは選  
挙や議会のことにも目を  
向けていきたいと考えて  
います。  
(20代男性)

○小・中学生でも見やす  
いものをつくって欲しい  
です。子ども向けに、質  
問コーナーを設けて欲し  
いと思います。  
(10代女性)

○中3の職場体験で市役  
所に行つてから市報やク  
イズをみるのが大好きに  
なりました。色刷りの写  
真なども美しいです。  
(10代女性)

## 傍聴席どうぞ

車いす席もあります

次回の開会は9月初旬予定

### 編集後記

食料・環境・ふるさと  
を考える「地球人会議か  
ごしま」が主催するシン  
ポジウムに参加した。

主催者は、蒲生町の漆  
を源流として錦江湾に注  
ぐ別府川を2年間かけて  
撮影し、45分のDVDを  
製作しており、シンポは、  
映像と合わせて進行した。  
【海と未来をつなぐ】  
【人と未来をつなぐ】  
それが【川】であり、  
【一滴の水】である、と  
いう言葉に感動した。

私たちが協働して紡ぐ、  
市議会だより「あいら」  
も行政と市民を結ぶ川で  
あり、一滴の水でありた  
いと思うことでした。  
(笹井)

編集・発行責任者  
議長 玉利 道満  
広報等調査特別委員会

委員長 河東 律子  
副委員長 竹下日出志  
委員 有馬 研一  
委員 小山田邦弘  
委員 笹井 義一  
委員 安田 久  
委員 湯之原 一郎  
委員 湯元 秀誠